

国語表現

教科	国語	単位数	2	学科・学年・コース	商業科3年生大学進学クラス
使用教科書	「国語表現」(京都書房)			副教材等	パスポート国語必携(桐原書店)

◇ 学習の到達目標 ◇

- ①国語で適切に表現する力を育成し、話す力・聞く力・書く力を高めます。
- ②言語感覚を磨き、進んで表現する態度を身に付けます。

◇ 科目の特色 ◇

「国語表現」は、「国語総合」で学習した国語の基礎的な力の中でも、特に「話す・聞く・書く」という力をより一層高める科目です。

◇ 学習の計画 ◇

月	単元名	主な学習活動
4 6	<ul style="list-style-type: none"> ・記録・説明の文章を書く ・意見文を書く ・パスポート 基本1回～8回 (一般常識・表現力養成) 	<ul style="list-style-type: none"> ・物事を正確に記録し、分かりやすく説明する力をつける。 ・読み手を意識して、説得力のある意見文を書く。 ・漢字の読み書き、正しい言葉遣い、一般常識を身に付ける。 <p style="text-align: right;">【前期中間考査】</p>
7 9	<ul style="list-style-type: none"> ・通信文を書く ・インタビューをする ・パスポート 基本9回～15回 (一般常識・表現力養成) 	<ul style="list-style-type: none"> ・形式を踏まえて、電子メールを書く。 ・身近な人にインタビューをして、文章にまとめる。 ・漢字の読み書き、正しい言葉遣い、一般常識を身に付ける。 <p style="text-align: right;">【前期期末考査】</p>
10 12	<ul style="list-style-type: none"> ・討論をする ・プレゼンテーションをする ・パスポート 発展1回～8回 (一般常識・表現力養成) 	<ul style="list-style-type: none"> ・時事問題からテーマを設定して、ディベートを行う。 ・聞き手を意識してプレゼンテーションをする。 ・漢字の読み書き、言葉遣い、一般常識を身に付ける。 <p style="text-align: right;">【後期中間考査】</p>
1 3	<ul style="list-style-type: none"> ・自分史を創作する ・パスポート 発展9回～17回 (一般常識・表現力養成) 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の生き立ちを振り返り、文章にまとめる。 ・漢字の読み書き、言葉遣い、一般常識を身に付ける。 <p style="text-align: right;">【後期期末考査】</p>

◇ 評価の観点・方法 ◇

評価は、次の四つの観点から行います。

関心・意欲・態度	国語や言語文化に対する関心や理解を深めようとしているか。 国語を尊重して、その向上を図ろうとする意欲が感じられるか。
話すこと・聞くこと	話し手の意見や発表を的確に聞き取ることができるか。 自分の考えをまとめ、目的や場面に応じて筋道立てて話すことができるか。
書くこと	自分の考えをまとめ、筋道立てて書くことができるか。 目的や相手に応じて適切な文章を書くことができるか。
知識・理解	語句の意味を理解し、語彙を豊かにすることができたか。

このため具体的には、次のものを対象とします。

- ①授業で活用するプリントや定められた課題
 - ②学習の自己評価
 - ③定期考査
 - ④授業中における学習態度(発表や討論の様子、学習活動への参加状況など)
- また1年間の評定は、前期・後期の年間を通して、上記の内容を総合的に判断して行います。

◇ 担当者からのメッセージ ◇

インタビューや討論をしたり、文章を書いたりする授業ですので、主体的な態度が必要です。また、就職試験や入学試験に役立つ学習をしますので、意欲的に授業に取り組みましょう。